

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	5.歴史的建造物保全整備事業						
項	5.社会教育費	細事業名	1.歴史的建造物保全整備事業						
目	2.文化財保護費	担当課・係	文化課	(執行課: 文化課)					

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業							(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳								一般財源
要求額	0	2,499	要求								2,499
決定額			決定								

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/歴史的建造物を保護しま									
	【歴史的建造物保全整備事業に関する業務】	施策体系コード	03-05-02-10-30			事業番号	48-1					
	建てられてから50年を経た佐倉市内の建造物で、歴史的景観に役立っているもの、再現することが難しいもの、造形の手本となっているものなど、文化財としての価値を有する大切な歴史的建造物を残していくために登録有形文化財制度を設け、修理や復元工事の際に、財政的支援を行っている。また、歴史的建造物の保存のための	総事業費	5,320千円				事業期間	平成18年度～平成22年度				
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度					
			0	790	530	1,500	2,500					
		(事業実施に関する根拠法令) 文化財保護法										

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 根郷地区の歴史的建造物基本調査を行い、歴史的建造物の分布状況等を把握する。	(事業の目的) 根郷地区の歴史的建造物の分布状況等を把握し、保存のための基礎資料とする。	(事業の効果) 歴史的建造物の保護により地域の歴史、文化に愛着がもてるようになる。
(事業実施上の問題点) 対象となる歴史的建造物のほとんどが個人住宅のためプライバシーへの配慮が必要である。	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項) 佐倉市全域の歴史的建造物の分布状況等は把握されておらず、指定文化財・登録文化財等の検討に支障をきたしている。